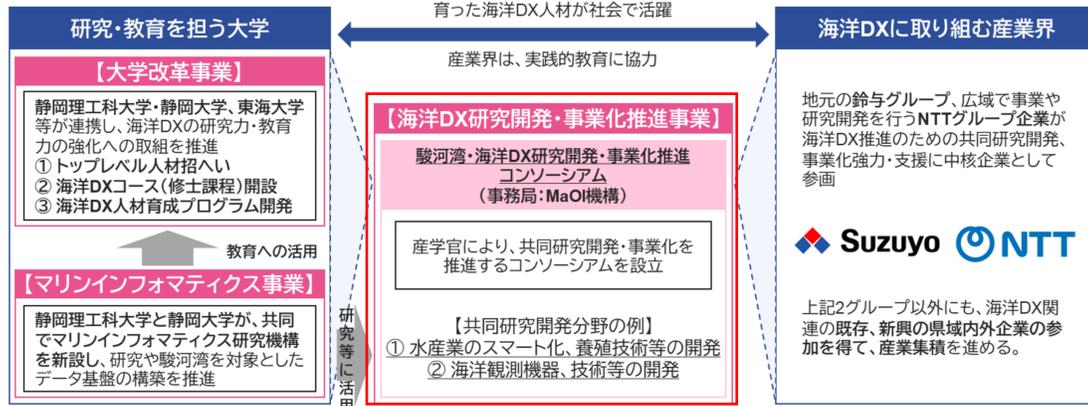




駿河湾海洋DXプロジェクト

駿河湾・海洋DX研究開発事業化コンソーシアム (海洋DX研究開発・事業化推進)

【1.取組概要】



地域の海洋関連産業の高度化・高付加価値化を図るため、産学官連携の「駿河湾・海洋DX研究開発事業化コンソーシアム」に「スマート水産」「ブルーカーボン」「海洋関連機器」の3つの分科会を設置し、駿河湾の海洋環境を活かして共同研究開発を行い、事業化・社会実装を進めます。

【2.取り組み内容】

スマート水産分科会

- テーマ：
■ 高精度生物・生態情報に基づくサクラエビ資源量把握技術の開発
■ 駿河湾関連データおよびIoT技術を用いたサクラエビ画像判定AIモデルの研究開発

駿河湾の象徴的な海産物であるサクラエビは、近年漁獲量が減少しており、資源保護を前提とした持続可能な漁業の実現が喫緊の課題です。「スマート水産分科会」では、高精度かつ広範囲にサクラエビの資源量や生態に関するデータを収集、分析する技術の開発を進め、科学的見地に基づく“水産業のスマート化”に取り組めます。

ブルーカーボン分科会

- テーマ：
静岡市清水区で養殖が可能な「紅藻アマノリ」種の選定およびその陸上養殖種苗システムの構築

地球温暖化対策や海洋生態系の保全への貢献から世界的に注目されるブルーカーボンは、国でも積極的な取組が行われています。「ブルーカーボン分科会」では、駿河湾の環境適性に合った藻類の生育条件等の調査を進めるとともに、DXを活用した高効率かつ安定的な藻類養殖技術の確立に取り組めます。

海洋関連機器分科会

- テーマ：
海洋観測機器の高度化・知能化を目指した光学式海洋センシング・通信技術の開発

広大な海から精緻なデータを効率的に得るためには観測技術の高度化、知能化が不可欠です。「海洋関連機器分科会」では、多様な海洋環境において生物動態や地形、海流の観測などを可能とする、新たな通信技術・作業機器等の実証開発に取り組めます。

【3.体制(参画機関一覧)】

